

高校卒業までに自己学習能力を身につけよう

—学力不足の大学生にならないために—

開倫塾

塾長 林 明夫

Q：なぜ今回のテーマを「高校卒業までに自己学習能力を身につけよう」にしたのですか。

A：(林 明夫。以下略) 開倫塾の塾生の皆様は、今は小学生や中学生、高校1～2年生であっても、高校卒業後は、大学や短期大学、専門学校など、所謂(いわゆる)高等教育機関に進学なさる方がほとんどです(以下、「大学など」とさせていただきます)。日本全体の平均でも74%以上の方が、高校卒業後は大学などに進学しています。

では、塾生の皆様のほとんどが高校卒業後進学する大学などの問題は何だと思えますか。何と、「学力不足」なのです。

Q：大学生が「学力不足」とは驚きです。本当なのですか。

A：今、大学などで一番大きな問題となっているのが、「大学生の学力不足」です。

Q：それは、どうしてですか。

A：高校入試がありますので、中学3年生まではほぼ全員が、文字通り「一所懸命」に「一つの所で命を懸ける」くらい熱心に勉強して高校に入学します。

問題は、高校に入学した後です。ごく一部の進学校を除き、ほとんどの高校生が余り勉強をしなくなることで、高校生の50%は平日の学校外の学習時間が0分であり、1時間半以下の高校生は全体の80%もいます。平日2時間以上学校外で勉強する高校生は20%にすぎません。高校生は、中学生よりはるかに難しい勉強をしなければならないのに、学校以外でほとんど勉強しないのでは、高校生としての十分な学力が身につかないまま、大学などに進学することになってしまいます。

Q：なぜ、学力不足なのに大学などには合格できるのですか。

A：大学などの定員と受験生の数が同じくらいになってしまったので、大学に入るのはそう難しくはありません。どこの大学でもよければ入るだけなら難しくはないのですが、大学は大学ですから、授業や研究の内容は以前と変わらず難しい場合が多く、高校のときのようにボーッとしていたのでは授業や研究について行けず、留年や退学処分になってしまいます。

Q：では、大学などでの教育を受けるまでに、どのようなことをすればよいのですか。

A：大学では、自分自身でよく勉強できる能力、つまり自己学習能力がすべての学生に身につけていることを前提にすべての教育や研究が行われます。

ですから、まずは小学校、中学校、高校時代のそれぞれの科目の勉強をしっかりと身につけておくことです。それに加えて、自分自身で勉強できる能力、つまり「自己学習能力」を高校卒業までに身につけておくことが大切です。

高校1年生になったのに、中学3年生時よりも学習時間が少ないということは、高校の授業についていけないことを意味しますから、高校入試が終わっても勉強のスピードを止めずに、高校の勉強にどんどん進んでいくことをお勧めします。高校生は、学校の予習も大事ですが、一度学校で勉強した内容を十分に復習し、正確に身につけるための「定着のための作業」を繰り返し行うことも大事です。

Q：教科の勉強の他に、高校卒業までに身につけておいた方がよいことは何ですか。

A：予習の方法が大切です。辞書や参考書の使い方、図書館の利用の仕方は是非身につけましょう。

授業の受け方も大切です。遅刻、欠席、早退、居眠り、おしゃべり、携帯電話は絶対にしないこと。大切なポイントは、後で見やすいようにメモを取り続けること。疑問があったら質問すること。これらはすべて自己学習能力と言えます。

授業後は、自分のノートブックに知識を整理し、必要なことは調べ直してそれに付け加えておくこと。忘れないうちにどんどん記憶し続けること。定期試験の1～2か月前までには、大半の科目の教科書とノートの内容はすべて暗記し終え、試験直前には過去に出題された問題を研究すること。これらの心掛けも大切です。

Q：それらの内容は、開倫塾でいつも教わっている「理解」→「定着」→「応用」と同じようですね。

A：はい。実は、開倫塾の「学習の3段階理論」は、大学に入学するまでに身につけてもらいたい「自己学習能力」の内容なのです。少しずつでよいですから、頑張ってください。

Q：開倫塾では、高校生も指導してくれるのですか。

A：昨年度より、開倫塾のすべての校舎で高校1年生に英語と数学を指導しています。高校入試までは熱心に勉強していたのに高校入学後はさっぱり勉強なくなり、卒業後に大学などに進学するに際して学力不足で苦しみ、大学などに入学してからも学力不足で悩む高校生が余りにも多いため、先生方のご協力を得てスタートしたのが開倫塾の「高校1年総合コース」です。学力不足の高校生、学力不足の大学生と言われないように、すべての中学3年生はせめて高校1年生まで開倫塾で勉強してください。開倫塾の卒塾は、中学3年生ではなく、高校1年生です。

難関大学へ進学を希望する高校1年生は、「高1～3選抜コース」のある高校部専用校舎にお通いください。2年生からは、高校部専用校舎(kairin 予備校)で入試に対応した指導をいたしますのでご安心ください。